

4 文字を使った式

ポイント

- ①文字を使った式 数量を表す式では、□や○のかわりに文字 a や x , y などを使うことがある。
 ②文字の値 文字に数をあてはめたとき、その数をその文字の値という。

例題 1 文字を使った式

1本 x 円のボールペンを4本買います。

- (1) 代金を求める式を、 x を使って書きなさい。
 (2) x の値が120のとき、150のときの代金をそれぞれ求めなさい。

解き方 (1) ことばの式で表すと、1本の値段 \times 本数 となります。 **答** $x \times 4$

(2) $x \times 4$ に $x=120$ をあてはめると、 $120 \times 4 = 480$ (円)

$x=150$ をあてはめると、 $150 \times 4 = 600$ (円)

答 $x=120$ のとき 480 円, $x=150$ のとき 600 円

参考 このように、1本の値段がいくらであっても、文字を使えば $x \times 4$ という1つの式で、まとめて代金を表すことができます。

1 1枚 x 円の切手を5枚買います。

- (1) 代金を求める式を、 x を使って書きなさい。

{ }

- (2) x の値が50のとき、80のときの代金をそれぞれ求めなさい。

$x=50$ のとき { }

$x=80$ のとき { }

2 x g のようかんを6個に等分します。

- (1) 1個分の重さを求める式を、 x を使って書きなさい。

{ }

- (2) x の値が300のときの1個分の重さを求めなさい。

{ }

3 次の数量を求める式を、 x を使って書きなさい。

- (1) 年れいの差が3才の兄弟で、弟の年れいが x 才のときの兄の年れい

{ }

- (2) 家から1500 m はなれた学校まで行くのに、 x m 進んだときの残りの道のり

{ }